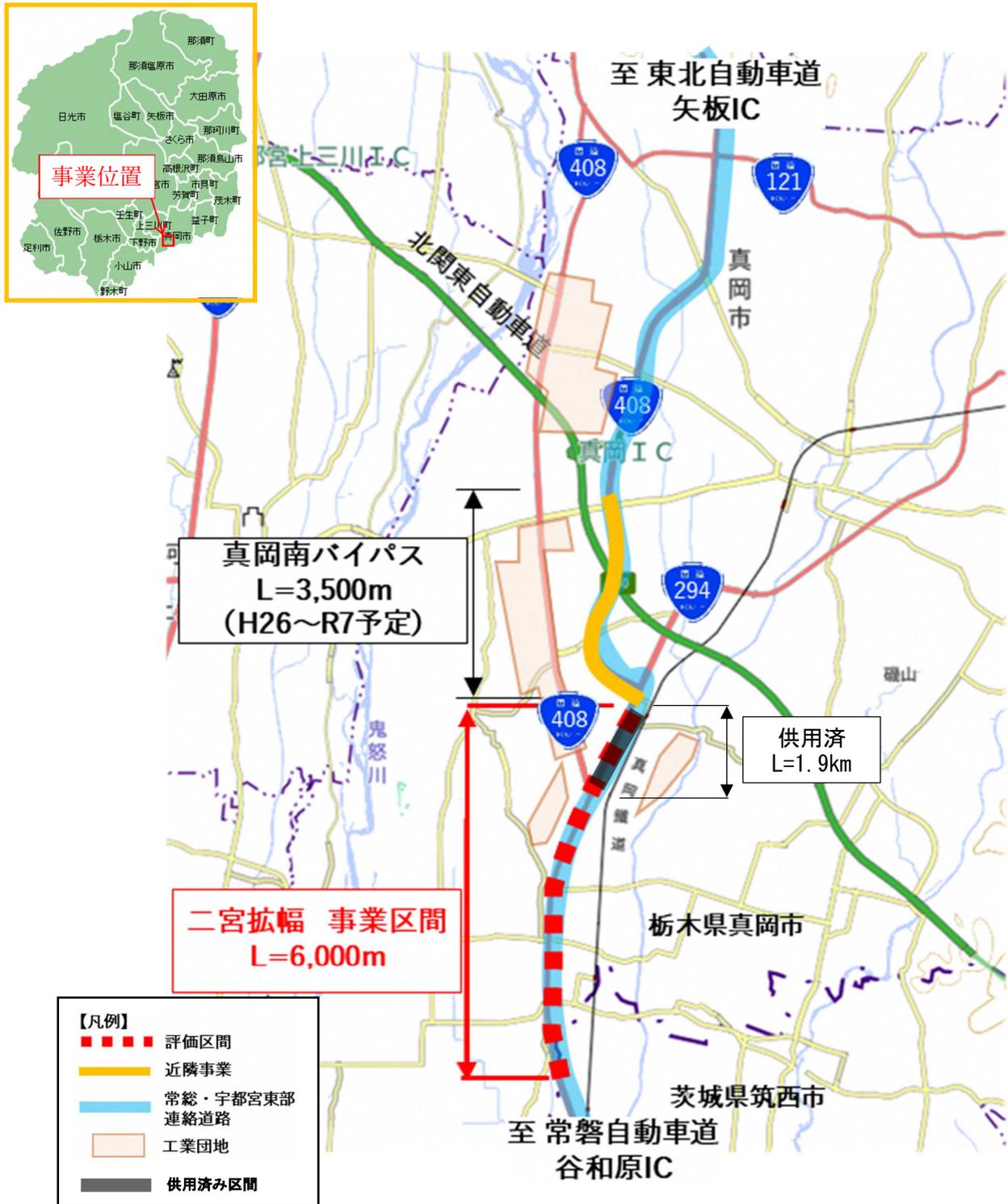


再評価結果（令和7年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・技術課
 担当課長名：西川 昌宏

事業名	地高ICアクセス 一般国道294号 <small>にのみや</small> 二宮拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	栃木県	
起終点	自：栃木県真岡市久下田 至：栃木県真岡市寺内			延長	6.0km	
事業概要 一般国道294号は、常磐自動車道谷和原ICと東北自動車道矢板ICを結ぶ高規格道路「常総・宇都宮東部連絡道路」の一部を構成する広域道路である。 本工区北側では、一般国道408号バイパスの整備が進められており、令和7年度には真岡南バイパスが4車線で供用開始する予定であることから、更なる交通需要の増加が見込まれる。 本事業により、事業区間の4車線化を図ることで、地域間の連携・交流の強化や産業活動の支援等を図るものである。						
R2年度事業化		S48年度都市計画決定 (H25年度変更)		R2年度用地着手		
全体事業費		約37億円		事業進捗率		
		約72%		供用済延長		
				1.9km		
計画交通量		34,000 台/日				
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用：(残事業)/(事業全体) 17/34 億円		総便益：(残事業)/(事業全体) 138/138 億円	
	4.1	13.8%	(事業費：13/30 億円)		(走行時間短縮便益：103/103 億円)	
	5.9 [2%]		(維持管理費：4.1/4.1 億円)		(走行経費減少便益：24/24 億円)	
	7.3 [1%]		(更新費：-/- 億円)		(交通事故減少便益：12/12 億円)	
	(残事業) 8.1	(残事業) 37.8%	(事業全体)		(残事業)	
(参考) 10.5 [2%] 12.1 [1%]		感 度 分 析	交通量	B/C=3.6~4.4(±10%)	交通量	B/C=7.2~8.8(±10%)
			事業費	B/C=3.9~4.2(±10%)	事業費	B/C=7.5~8.8(±10%)
			事業期間	B/C=3.9~4.2(±20%)	事業期間	B/C=8.2~8.5(±20%)
事業の効果等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域的な交流・連携の促進と地域の産業支援 ・ 渋滞緩和による交通円滑化 ・ 災害時の救援活動や物資輸送に資する緊急輸送道路としての機能強化 						
関係する地方公共団体等の意見 <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。 ・ 関係市である真岡市から、本事業の早期完成の要望活動が行われている。 						
事業評価監視委員会の意見 栃木県公共事業評価委員会において審議を経て、事業継続が妥当と判断						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 令和3年3月までに真岡南バイパス(L=3.5km)が供用開始(暫定2車線)						
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地進捗率約75%、事業進捗率約72%						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、4車線化工事を推進していく。						
施設の構造や工法の変更等 再生材の利用や建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。						
対応方針		事業継続				
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。						

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したものの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)